



TCA

—NEWS—

Vol.32 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



秦皇島経済技術開発区管理委員会オフィスビル (写真提供/秦皇島経済技術開発区高新技术創業服務中心 王 建華さん・撮影者/牟 善玉さん)

対外開放の窓口

秦皇島経済技術開発区は1985年4月設立され、国務院に認可された14沿海開放都市の開発区の一つです。計画開発面積は10平方キロです。10年近くの開発建設を経て、ここはすでに内外の投資家によってよい投資場所になりました。最近では、約20の国と地域の投資家たちは、190数社の外資企業を設立しております。

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

委員会報告

ボランティア養成講座「女性の生き方」

講師 政二 俊子 氏（前当協会理事）

「一度切りの人生を色濃く過ごしたい」と仕事をして、ボランティア活動もして来たように思う。努力を重ねながら自分らしく生きることによって自分の蓄積・人生が色濃くなる。」と、多彩な顔をお持ちになる講師ならではの体験から、時代の節々をいくつかの輪切りにしてお話しされました。

- 20世紀は女性にとって変革の時代であった
 - ・参政権を得た・女性は女性によって作られた(女性として生れたのではない)・宇宙へ行った
 - 戦争体験から学んだこと
 - ・戦前、戦中、戦後と世の中や教育が一変する怖さ
 - 家庭を管理する大切さ
 - ・子供を教育する・子供を守る・家庭でしか教えられる挨拶やしつけ（ありがとう ごめんなさい）
 - 男女雇用機会均等法の成立（1997年）
 - ・やりたいことをやれる社会…選択できる社会
 - 男女共同参画社会基本法の成立（1999年）
 - ・特別に政策的配慮が必要な場合はポジティブ・アクションを
 - 21世紀…「本当にいいものは何か」を残したい
 - ・戦争と貧困のない社会…平和で豊かな社会
 - ・男女性別役割分業の壁の崩壊する社会
 - ・他者を思いやる気持ちを大切にする社会
- （以上 講演要旨）



1月20日 当センター

労働省富山・石川婦人少年室長、富山家庭裁判所調停委員、富山市選挙管理委員会委員長などを歴任され、現在は富山地区生涯学習団体協議会会長としてご活躍中です。

ボランティア委員会

国際交流カレッジ

「地域における国際交流・協力活動の現状と課題」

講師 ブイ チ トルン氏（財豊田市国際交流協会事務局長）



2月20日 当センター

戦後55年が過ぎ、現在の日本社会の繁栄は極みにある。現在ある日本の繁栄は、日本人が勤勉だったからか。いや、それだけではない。戦争がなかったから、平和だったからであることを忘れてはならない。今、生まれた子供たちの50年後が今とどう比べられるか……。

国際交流活動は、単に友好親善のみならず世界平和への貢献手段としての第一歩でもある。それは、国際社会繁栄の維持・発展に必要不可欠なことである。

近年、世界の国々の間が近くなって来ている。日本も諸外国との間に人をはじめ、情報、モノを介して文化、経済の交流が盛んに行われている。日本社会は、特に経済面で国際社会の仕組みの中に直接的に組み込まれていて「グローバル化」により否応なく国際社会の中の運命共同体となり、その意識改革が必要となってきている。そのため、地域においても国際交流・協力活動は、①国際交流・理解 ②多文化共生(在住外国人との共生も含む) ③国際協力の3分野からなっている。

外国人も住民である。行政サービスの対象は、外国人を含むすべての市民のための対応の仕組みづくりが急務である。

このような活動の担手は、ボランティア市民、NPOなどである。…と、地域国際交流・協力団体の役割の大切さを訴えられました。

ベトナム出身。1969年名古屋大学に留学し農学博士学位取得。その後、国際交流・協力活動に係わりながらNGO、NPOボランティア活動を積極的に支援。現在は全国の国際交流協会で唯一の外国人事務局長です。

スバラシイ講演に参加者たちは感動しました。

（以上 講演要旨）

総務企画委員会

海外研修

ハワイ友好訪問「ハワイ日系人連合

感動の交流

奥澤利治姉妹友好都市副委員長を団長とする一行19名は、ハワイ日系人との友好交流を目的に大自然・常夏のハワイを訪問しました。

「ハワイ日系人連合協会」では、1868年から今日までの日本人移民の夢や誇



「財ハワイ日本文化センター」の前で会長らと一緒に

り、苦難そして努力など日系人のドラマチックな歴史について学び感動しました。北前船「長者丸」の次郎吉や富山新港の海王丸、NHKのど自慢等々、富山の話なども出されて団員たちは親しく交流しました。そ

して、この訪問がきっかけにお互に交流を深める、友好の絆を確認しました。

また、訪問時期が日米の関係揺るがすような大きな事件「宇和島水産高校の実習船『えひめ丸』と米原潜の衝突事故」のあった時と重なり、地元新聞やテレビに大きく報道されるニュースに興味を引かれました。もうひとつのハワイ訪問では歴史や自然、史跡めぐりを楽しみ、ワイキキ・ビーチでのんびりと休日を楽しんでいる多くの国の人々とふれあうことも出来ました。

今回の海外研修は、「ハワイ日系人連合協会」とのステキな交流などを通してほんの少しですが自分の目で世界の街を見聞、そして、参加した仲間たちとの友情など熱い感動や楽しい思い出がいっぱいの実り多い研修旅行でした。

ハワイ日系人との友好のかけ橋

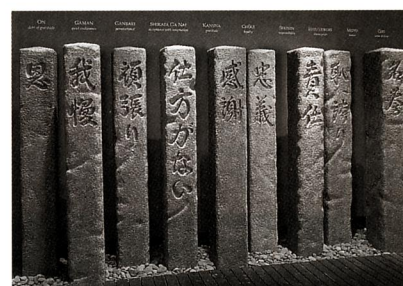
ハワイ日本文化センター・ヒストリカルギャラリーでケーネス・サイキハワイ日系人連合協会会長ら、関係者のみなさんの歓迎を受けました。

蛇の目傘、下駄、行李、着物、人形、生活用品等々、日系人たちの心と思い出の詰

まった歴史がいっぱいに置かれてありました。そして、正面の壁面に「おかげさまで」と大きく彫り込まれていて、その周りの床に「責任」「頑張り」「我慢」……と彫られた石柱が立ちならんでいました。

1868年「元年者」と呼ばれる最初の移民団から移住が始まり砂糖きびやパイナップル畑で働きました。移民たちは、コミュニティを作り、子供たちには良い暮らしをさせたいと過酷な労働に耐えて日本の文化的誇りを伝え、守りながら、価値観や世界観を教え込んだそうです。

1941年の日本軍による真珠湾奇襲攻撃は日系移民たちには大変な苦難をもたらしました。アメリカへの忠誠を誓いアメリカ市民



新年のつどい

留学生や富山在住の外国の人たちと、かるた取りや福笑いなど、日本のお正月の遊びを楽しみました。かるたの字が読めなかったりルールがわからず戸惑ったりしましたが、だんだん上手になってうまく取れると大きな歓声が上がりました。また、福笑いでは、おもしろい顔が出来上がりまわりから大きな笑聲が起きました。そして、最後は全員でぜんざいを味わいました。



1月21日 当センター

もっと知ろう世界の街

第7回 ケニア共和国

講師 フィリップマーズ氏
国立高専留学生

ジャンボ！こんにちは！「ケニア」は、どんな国だと想像しますか？「テレビで見る『野生の王国』を思い浮かべます。」「主食は？」「ウガリというトウモロコシの粉を熱湯で練って蒸したものを食べます。」

こんなやりとりをしながら、ケニアの生活や文化を案内してもらいました。



2月18日 当センター

文化交流委員会

多国言語文化交流サークル

第8回 1月13日(出)	広東語	講師 呉 偉申氏
第9回 2月17日(出)	ゾンカ (ブータン)語	講師 ジグミー シンギ氏
第10回 3月3日(出)	ブラジル・ ポルトガル語	講師 米谷 美智子氏

第11回は4月7日(土) モンゴル語を予定しています。

中国語会話集中講座

中国語講座で会話学習をしている人たちは、老師(講師)を交えながらその日の主題を中心に普段の経験や感想などを中国語で語り合い、会話力を高めようと10余名の参加者で3月の金、土、日に6回開講をしました。



当センター

国際教養委員会

外国人お嫁さん交流会



2月22日 市民プラザ

〈日本のお菓子〉

講師 城石ふさ子氏

桜もち(道明寺)、うぐいすもちといなり寿司をみんなで一緒に楽しくつくりました。

〈日本の生活・習慣〉

「家族や近所づきあいなど、日本の社会で生活していてわからないこと、こまったことがいっぱい！」と、外国から来たお嫁さんたちは、日本の風俗習慣、家庭生活、教育、医療などについて先輩の日本人の方々に教えてもらいました。ボランティアの方々の手づくりのお寿司やお菓子を食べながら、お互にとっても楽しい、なごやかな雰囲気が進みました。「今日は参加してよかった。これからもこのような交流会があってほしい」と言う希望が多くありました。



3月15日 当センター

ボランティア委員会

協会」との友好のかけ橋に...

2001年2月9日～2月13日

としてアメリカのために戦ったが、それでも敵国人とみなされ、強制収容所へ送られたりもしました。このような長い苦しい時を耐え、現在では、たくさんの方々が活躍し、ハワイに政治的、経済的また社会的に大きく貢献しておられるそうです。

そして、日系三世、四世は、民族的背景を越えた、新しい生きがい、人生の意義を探し求め、ハワイの多民族文化のライフスタイルの中に溶け込むことができるように努力していることなどを話されました。

私たちは、移民生活の写真やパネル、映画を鑑賞しながら交流し、たくさんの方々のことを学びました。

また、交流の懇親会では、自分たちの出身地は「山口県」「岐阜県」などと親戚から聞かされた民謡や名物などをなつかしむ話題に話が弾みました。そして、この交流をきっかけにお互に新たなよい関係を築いていくことを確認しました。

ハワイ日本人学校「レインボー学園」を尋ねて！

1974年「フォート学園補習科特別クラス」として児童数35名で発足し、1983年に現在の「レインボー学園」となる。現在は、文

部省派遣教員白石校長のもと、①日本の学校に就学を予定する子どもを教育する。②日本語の学習を希望する日本の義務教育年齢期の子どもの教育する。③日米双方の文化を尊重する国際性豊かな子どもを育成する。などを目的として、保護者や協力者のボランティアに支えられ、生徒数379名、原則として毎週土曜日のみ開園する私立の補習校であります。



一世 二世 三世 四世

ハワイ訪問中に悲惨な出来事が...

「2月9日、オアフ島の沖あいであ媛県の実習船が米海軍の原子力潜水艦と衝突・沈没した」と報じられ宇和島水産高校生の顔写真などが掲載された現地の新聞、テレビのニュースにくぎ付けになりました。

(財)ハワイ日本人学校(レインボー学園)

を尋ねた際、校長らがその対応に向かい、いらっしやることを聞いて、事の重大さを知りました。また、「ハワイ日系人連合協会」の方々と交流懇親会でも「日本からの『えひめ丸』の家族のお世話などで、大変…」とのことで3人だけのご出席でした。

事故の犠牲者や家族の方々の怒りや悲しみが消えて、心穏やかに気持ちの整理を着けることができる時が早く参りますことをお祈り申し上げます。



2001.2.25
北日本新聞

姉妹友好都市委員会

2001年新春国際交流の集い

2001年 2月3日 12:00~14:30

CiCビル 5F 多目的ホール

「新世纪をみんな
で祝おう!」と世界
各国からの富山在住の外国の
人たちと会員らは楽しく交流し
友情を深めました。

はじめに、たっぷりと「観る」ス
テージを楽しみ、それから食事をしな
がら、ビンゴや、節分当日とあって豆
まきをしました。鬼の面をかぶった子
供たちが逃げまわったりして楽しんで
いました。また、「体験コーナー」で
は、書道や折り紙、越中玉すだれな
どを指導を受けながらやってみ
て、出来栄えに大喜びしたり、
カラオケコーナーも大人
気でした。

観る 日本舞踊



『花暦』 花柳源香氏
田島節子氏

カザフ民族音楽



月『ふるさと』『母親』月
アイティムラティ氏
(中国)

越中玉すだれ



チョイと伸ばせば!!チョイと返せば!!
唄に合わせて形をつくる玉すだれ芸

コーラス JETコーラス



『FURUSATO』(日本)
『I GOT SHOES』(USA)
ほか

和太鼓



祭ばやしものにぎやかに
おかめとひよっこ

お楽しみ体験コーナー



〈書道〉



交流会



節分豆まき



鬼のお面をつけた
子供たちは...

〈折り紙〉

兜や鶴、うまく
折れましたか!!

〈ビンゴ〉

会員たちが持ちよった景品に、
「どれにしようかなあ!!」



国際化社会を迎えて…… 国民感覚の違いをどう乗り越えるか

協会会員 内山久子 氏

中国では近代化への変貌が著しい。若者の間には、さらに豊かな暮らしを目ざして、先進諸国に学ぼうとする大きなうねりがある。日本や西洋諸国への留学ブームがそれである。

去年の夏、私は中国での語学留学を終えて戻ってきたが、日本も国際化社会へ、さらに大きく踏みだしていた。しかし一方、未成年者による犯罪が頻発していたし、そして外国人による犯罪も多くなっていた。私の愛する中国を例えるのは本意ではないが、再発防止を祈り、あえて問題点を探してみたい。

中国の子供たちは、素直で向学心に燃えている。彼らは早く日本語が話せるようになって日本へ旅立ちたいと思っていた。しかし内心、私は一部若者の中に犯罪につけいられやすい部分があるのを危ぶんでいた。私の体験であるが、大連の学院で日本語を教えていたある日、3人の男子生徒が「日本でパスポートやビザが切れて、そのまま住み続けていたらどうなるのですか？」と聞いた。私は驚いて「それは犯罪です」と答えた。彼らの落胆ぶりが大きかったの

で、私は悪いことをいったような気がして悩み、中国人教師に打ち明けた。すると教師は「彼らには、中国ではそのようなことが通っても外国では通らないのを、どうぞ教えてやって下さい」と、頭を下げられた。

残念ながら日本には、自分が手を汚さないで悪事を働こうとする者がいて、ビザなしで在日している立場の弱い人を利用しようとする、私はそこが怖いのだ。

外国人が日本で生活していくためには、多くの国民感覚の違いを乗り越えていかなければならない。銭湯では湯船の中で体を洗ってはいけないとか、ゴミを捨てるにも、いろいろな決まりを守らなければいけないなど、日本独自の公共性がある。愛する外国の友だちよ！「郷に入っては郷に従え」、中国から来た、古くて新しい格言を思い起こして欲しい。そして日本人よ！優しくきっぱりと教える余裕を持って、外国のお友だちを導いて欲しい。



大連外国語学院のクラス会(左から2番目)

お知らせひろば

平成13年度

富山市民国際交流協会総会

と き 5月7日(月) 16:15

ところ 富山国際会議場 2F

- ・総会
- ・記念講演

講 師 ウォルタ A・ニューポート氏

石川県農業短期大学教授 富山医科薬科大学講師

テーマ 「グローバルな環境における多様性と調和
…国際生活30年に見る」

・交流レセプション 18:20 全日空ホテル 3F

参加会費 3,000円

※多くの方の出席をお待ちしております。

新緑の中で…森林浴と交流(日帰り)

と き 5月27日(日) 8:30 集合(当センター)

9:00 出発

ところ 富山厚生年金休暇センター 立山山麓旅行村周辺

参加費 外国人 1,000円 日本人 2,000円

※交流ウォーキング、歌、ゲームなどの交流会を行います。

新緑の中で楽しく交流しましょう！

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円 法人 10,000円

○納入方法 ①当協会窓口 ②振込(北陸銀行市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金No.40776440)

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 442-1109 FAX 442-3807

外国人お嫁さん交流会

お花見交流会	4月12日(木) 10:00	松川 辺り
料理(旬料理)	5月10日(木) 10:00	エルフ
手 芸	6月21日(木) 10:00	当センター

日本伝統文化にふれよう

日本舞踊	6月3日(日) 13:30	当センター
華 道	6月24日(日) 13:30	当センター

受講者募集！(平成13年度講座開講予定)

・会員は受講料が無料の講座です

研修場所 当センター

研 修 講 座 ・ ク ラ ス 名	研 修 日 時
1 英語通訳・ガイド練成・実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2 英語通訳・ガイド養成・実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
3 英語によるスピーチと討論クラス(E.S.D)	毎月第3火曜日 18:30~20:00
4 国際教養サロンクラブ(英語国際文化談話)	毎月第2月曜日 18:30~20:00
5 日本語ボランティア入門クラス	毎週土曜日 10:00~12:00
6 中国語日常会話入門クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:30 毎月第2土曜日 10:00~12:00
7 中国語日常会話初級クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
8 中国語発表実践中級クラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9 やさしい中国語会話サロンクラス	毎月第1土曜日 10:00~12:00
10 ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
11 多国語文化交流クラス	毎月第1土曜日 10:00~12:00
12 国際教養委員会合同研修会	随 時
13 日本文化英語交流サークル	毎月第4水曜日 18:00~19:30
14 楽しく学ぼう英語研修サークル	毎月第2土曜日 13:00~15:00



2月18日 サンフォルテ(県女性総合センター)

和服で和菓子と抹茶

W・W・T (ウイメンズ・ウイング・トヤマ) は、外国人との交流事業の中で着付けと茶道で日本を紹介しました。会員たちがそれぞれ着物を持ち寄って着付けから指導しました。参加した中国、韓国、カナダ、アメリカなど富山在住の外国人の人は、「日本で和服を着て茶会に参加できるなんてスバラシイ…」と、慣れない正座で作法を教わりながら一服を味わって満足そうでした。

日中交流春節パーティー ～新世紀春節晩会～

にぎやかな音色に合わせた華やかな獅子舞でパーティが始まりました。富山・中国ネットワーク、富山日中文化交流会ととやま自遊館が協力して中国からの留学生らと中国の春節を祝う会として毎年開かれておりま



1月27日 とやま自遊館

す。メンバーたちの手作りギョーザや中国料理などを味わいながらアトラクションを楽しんだり、中国の伝統的な旧正月の行事を通して交流を深めました。

秦皇島市卓球友好訪問団来富

楊 占良秦皇島市体育運動委員会副主任を団長とする秦皇島市卓球友好訪問団一行8名は、2月15日から19日まで富山市を訪問されました。富山市総合体育館で親善卓球交流会が開かれ、市民たちも参加して訪問団員とのプレーを楽しみ、スポーツを通じて親善を深めました。

第6回 富山県国際交流団体ネットワーク会議

3月9日 とやま国際交流センター

富山県内の国際交流・国際協力団体相互間のゆるやかな連携を目指し、情報交換や研修機会の提供等を通じて団体間のネットワーク化を図り、地域の国際化を推進することを目的に開催されました。

「インド西部大地震災害救援の会」設立

富山県日印友好クラブや富山県モンゴル友好事業協力会、富山市民国際交流協会と富山在住のインド人らなどの会の代表が世話人となり「インド西部大地震災害救援の会」が設立されました。会では、街頭募金などで義援金の募金を行いました。

当協会では、1月より「インド西部大地震緊急募金箱」を設置してありましたところ23,055円の募金がありました。

また、市立奥田小学校の児童たちもインドからの富大留学生、B・V・ラオさんとカレーライスを囲んで交流したのをきっかけに学校内で募金を集めて善意の協力をしてくれました。義援金は4月始めにインド大使館を通じて現地に贈ります。(現在、県内にはインド人は18名在住しています)



3月4日 JR富山駅前での募金活動

青年海外協力隊帰国報告会

国際協力事業団北陸支部



2月27日
市民プラザ

青年海外協力隊員として2年間体験した(平成10年4月～平成12年4月)活動や生活についてスライド等を使って報告されました。

森 敬さん(派遣国 パプア・ニューギニア 職種 体育)

体育教師として従事したが、道具が十分でなく、また、バレーボール指導中に生徒がジャングルに逃げてしまうなど苦労したことや、授業に基本練習などを取り入れて、サッカーチームが優勝できたことなどを報告されました。

西野 泰江さん(派遣国 バングラディッシュ 職種 保健婦)

簡易トイレでは、トイレのハエがご飯にまで着いて伝染病の源となってしまうので、トイレの改善に努めるなど公衆衛生の向上に従事したことを報告されました。

会場は、約100名の参加者で大盛況でした。

編集後記

また、春がやってきました。みなさまのご協力のお陰でTCA-NEWS-春号をお届けすることができました。

本誌は、「市民レベルの国際交流の意義と重要性を知ってもらい活動の輪を広げよう」という熱い思いで、全く素人ばかりのボランティア仲間が手探りで作り始めたものです。そして、プロの方のご協力をいただいたり、県外の交流協会と交流したり、5年目にはアンケートで意見を伺ったり等々、試行錯誤を繰り返しながら休刊することなく何とか続けてまいりました。この間、ご意見や激励などをいただいたりもしました。今年に入って新世紀にふさわしい情報紙のあり方を改めて検討しております。創刊当初の思いを忘れずに、かつ、時代にあったものを皆さまにお届けできますよう努力していきたいと思っております。次回からは「会員の声」というスペースを新たに設けて、広報のみならず協会全体について、皆さまの忌憚のないご意見、ご要望をお聞かせくだされば幸いと存じます。

広報委員会では、編集にご協力いただける方の参加をお待ちしております。興味をお持ちの方はご連絡下さい。

広報委員長 岡田 昌代